

日伯農業・食料対話高級実務者会合の結果概要について

令和6年5月24日

農林水産省

令和6年5月23日（木）及び24日（金）に、農林水産省は、ブラジル農業・畜産省と「日伯農業・食料対話高級実務者会合」を開催し、両国は、食料安全保障の実現、農業技術協力や輸出促進等について意見交換を行うとともに、食料の需給がひっ迫する等の不測の事態への対応について、今後、政府間対話の枠組みを立ち上げることに合意致しました。

また、従来から大臣間で定期的に行っている閣僚級の日伯農業・食料対話について、9月にブラジルで予定しているG20農業大臣会合に合わせて開催し、今後、準備作業を進めていくことで一致しました。

1. 開催日時及び場所

日時：5月23日（木）10時00分から15時30分

場所：農林水産省省内会議室

2. 出席者

<日本側>

農林水産省輸出・国際局長 水野政義 ほか

<ブラジル側>

ブラジル農業・畜産省国際貿易局長 ロベルト・ペローザ、農畜産防疫局長 カルロス・グウラール ほか

3. 結果概要

（1）両国は、生産性向上に資する技術協力や、食品・酒類の輸出促進等について意見交換を行いました。我が国からは、ブラジルから日本への穀物の安定供給の観点で、食料需給がひっ迫する等の不測時に備えて、両国間で情報交換・意見交換を行う対話の場を提案し、9月のMOU締結に向けて議論を進めていくことで合意致しました。また、日本企業が投資する穀物積み出し港などのインフラ整備事業を円滑に進めるため、今後、二国間で省庁横断的に議論していくことを確認し、日本産食品・酒類の輸出促進のための環境改善、持続可能で生産性向上に資する技術協力について提起しました。ブラジル側からは、G20農業大臣会合に係る情報提供の他、両国間の貿易関係強化、気候変動、カーボンニュートラル、持続可能な生産システム構築に向けた技術協力について、提起が行われました。

（2）また、両国は、今年ブラジルで開催が予定されているG20などの会合を念頭に、ブラジルにおいて、第5回日伯農業・食料対話の開催を目指すこととし、今後準備作業を加速化させることを確認しました。

(3) 加えて、23日(木曜日)夕方に、両国は、駐日ブラジル大使館において、官民合同のビジネスセミナーを開催し、食料安全保障の実現に向けて、穀物調達インフラの整備、持続可能な生産技術、両国の貿易促進等について意見交換を行いました。

(4) 5月24日(金曜日)には、イノベーション等による持続的生産体制の取組等を把握する観点から、衛星画像やドローン等のスマート農業を活用し、超低コスト、超低メタンの稲作体系の確立に向けた乾田直播に取り組んでいる農業生産法人ヤマザキライスにおいて現地視察を行った他、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構において意見交換を行いました。

① 日伯農業・食料対話高級実務者会合 (5月23日(木) 10:00-15:30)



② ビジネスセミナー

(5月23日(木)) 16:30-20:30)



③ 現地視察 (5月24日(金) 9:30-17:00)

